

自己評価結果表【タイプB】（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

| | | |
|-----------------------------|--------|---------------------------------------|
| (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | b | 保護者に周知が図られていない。明文化されていると思うが、周知が十分でない。 |

2 経営状況の把握

| | | |
|-------------------------------------|--------|----------------|
| (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | b | |
| ② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 | b | |

3 事業計画の策定

| | | |
|---|--------|-------------------|
| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | c | |
| ② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | c | |
| (2) 事業計画が適切に策定されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | b | 行われているが、周知されていない。 |
| ② 7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | c | 内容の周知、説明がされていない。 |

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

| | | |
|---|--------|-----------------------------------|
| (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | c | 組織的に行われていない。 |
| ② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | c | 評価結果の報告を含め、それに基づいた取り組みが明確にされていない。 |

Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

| | | |
|---------------------------------------|--------|--------------------------------------|
| (1) 施設長の責任が明確にされている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | b | |
| ② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | b | その時々で、会議に出る程度である。 |
| (2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 | b | 意欲はあるが、一人で走りがち。 |
| ② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。 | b | 指導力は発揮している。具体的体制を構築しようとしているが機能していない。 |

2 福祉人材の確保・育成

| | | |
|---|--------|---|
| (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a | 現実と計画はずれがあるが、人材確保の努力がされている。 |
| ② 15 総合的な人事管理が行われている。 | a | 行われている。 |
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 | b | 看護師確保のため、保育士の勤務に負担が多い。育児、産休について取りやすくなったが、その人員補充が課題。仕組みはあるが、改善は不十分。働きやすい職場ではあるが、就業は厳しい状況もある。 |
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |

| | | | | |
|-----|------------------------------------|---|--------|---|
| | ① | 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | b | マナー研修、出張などある。目標の管理はされているが内容と確認が不十分。年度末の総括はあるが、中間での振り返りが無い。 |
| | ② | 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | a | 研修等が計画され、行われている。 |
| | ③ | 19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | b | 階層に合わないものに行かないといけない。機会は確保されているが、適切ではない。研修等の機会はあるものの、十分に行われていない。 |
| (4) | 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | b | 具体的な中身については、職員に周知されていない。実習指導者の研修がない。 |

3 運営の透明性の確保

| | | | | |
|-----|--------------------------|-------------------------------------|--------|--------------------------|
| (1) | 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | b | 公表されているかも知れないが、周知されていない。 |
| | ② | 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | b | 周知されていない。 |

4 地域との交流、地域貢献

| | | | | |
|-----|----------------------|---|--------|--------------------------------------|
| (1) | 地域との関係が適切に確保されている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | b | 十分ではない。地域との交流はない。法人としてはある。 |
| | ② | 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | a | 検便や誓約書など受入はしっかりしている。マニュアルを文章化されていない。 |
| (2) | 関係機関との連携が確保されている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | b | 里親や医療機関など、まだ、改善すべきところは多い。 |
| (3) | 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 26 施設が有する機能を地域に還元している。 | c | ショートステイ事業、児童センターへの栄養士の派遣をしている。 |
| | ② | 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | c | 地域のニーズの把握をしないとけない。 |

III 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

| | | | | |
|-----|------------------------------------|---|--------|---|
| (1) | 子どもを尊重する姿勢が明示されている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 | b | 行われているが十分ではない。勉強会等はない。共通の理解のための取り組みをしていない。 |
| | ② | 29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。 | b | 権利擁護に関するマニュアル規定を整備しているが十分ではない。 |
| (2) | 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 | b | 積極的に提供しているとは思えない。 |
| | ② | 31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。 | b | |
| | ③ | 32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。 | a | できていると思う。 |
| (3) | 子どもの満足の向上に努めている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | b | 改善する余地がある。もっとケース会議を行う必要を感じる。 |
| (4) | 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | b | 苦情申し出しやすいふうはされていない。 |
| | ② | 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 | b | 保護者の方が話しやすい雰囲気を作られている。 |
| | ③ | 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | a | 家庭支援専門相談員を中心に対応するように務めている。 |
| (5) | 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。 | | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① | 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | b | 看護師の方でヒヤリハット作成。マニュアル作り等を随時行っている。看護師からの話が増え構築されつつある。 |

| | | | |
|---|---|---|--------------------------|
| ② | 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | b | 看護師が変わり、新たにマニュアルを作成中。 |
| ③ | 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 | a | 定期的に避難訓練を様々な状況を想定し行っている。 |

2 養育・支援の質の確保

| | | |
|---|--------|--|
| (1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。 | b | 養育については、指導マニュアル周知している。子どもの尊重、プライバシーについては課題があり、明文化が必要と思われる。 |
| ② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | b | 見直しはされているが、改善はない。 |
| (2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。 | b | 策定はされているが、周知されていない。支援計画を元にした取り組みも十分ではない。 |
| ② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。 | b | 見直しの過程が明らかでない。 |
| (3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。 | a | 処遇ソフトでの記録を導入し、記録内での共有を図っている。 |
| ② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 | a | 確立しているが、改善の余地はある。 |

□

内容評価基準（22項目）A-1 子ども本位の養育・支援

| | | |
|--|--------|-------------------------------------|
| (1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。 | b | 理解している。努力はしているが十分ではない。全体で振り返る機会が必要。 |
| (2) 被措置児童等虐待対応 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A2 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。 | a | 繰り返し伝えられている。会議によくである話だと思う。 |
| ② A3 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。 | b | 生活向上委員会により権利ノートを作成中。防止のための職員体制が不十分。 |
| ③ A4 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。 | b | 対応マニュアルが整備されているかわからない。 |

A-2 養育・支援の質の確保

| | | |
|--|--------|--|
| (1) 養育・支援の基本 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A5 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。 | a | 全職員が取り組んでいる |
| ② A6 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。 | b | 生活体験の質に差がある。自分のものといえる玩具があることそうでない子がいると思う。取り組みはされているが、一人ひとりにあわせることが難しい。 |
| ③ A7 子どもの発達を支援する環境を整えている。 | b | 自らの養育を振り返るシステムが不十分。人的な配置の問題で子どもの問いかけが流れてしまうこともあると思う。 |
| (2) 食生活 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A8 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。 | a | 適切にできているのではないかな。 |
| ② A9 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。 | a | 十分ではないがある程度できている。個々にあわせている。 |
| ③ A10 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。 | b | 職員配置的に難しいときもある。 |
| ④ A11 栄養管理に十分な注意を払っている。 | a | |
| (3) 衣生活 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A12 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。 | a | 担当者が責任を持ち取り組んでいる。 |
| (4) 睡眠 | 自己評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| ① A13 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。 | b | 配慮はしているが、集団生活なので十分とはいえない。 |

| | | | |
|---------------------|--|------------|---|
| (5) 入浴・沐浴 | | 自己 評価結果 | |
| | ① A14 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。 | a | 適切に行われている。 |
| (6) 排泄 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A15 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。 | b | トイレトレーニングを行う上で、人的、環境的にも不十分。 |
| (7) 遊び | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A16 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。 | b | 養育の質の向上が必要。私物で遊ぶことができていない。小グループになり遊びは発達段階に合うこともあるが、個別化は難しい。自由に遊べる工夫がない。 |
| (8) 健康 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A17 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。 | a | 嘱託医との連携の元、3週間に1回の往診で対応できている。 |
| | ② A18 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。 | b | できる限りのことを行っている。 |
| (9) 心理的ケア | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A19 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。 | b | 保護者の支援は課題がある。 |
| (10) 施設と家族との信頼関係づくり | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A20 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。 | a | |
| (11) 親子関係の再構築支援 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A21 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。 | a | 他機関との連携のためにカンファレンス等へも積極的に参加している。 |
| (12) スーパービジョン体制 | | 自己 評価結果 | 【判断した理由・特記事項等】 |
| | ① A22 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。 | b | スーパーバイザーについての職員への周知が不十分。 |